

川上ダム通信

2017
3
月号



独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索
ご意見・ご感想はこちらへ <mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp>

Vol. 138
Since 2005

安全は日頃の備えから ～消防訓練・救命講習会の開催～

2月16日(木)、伊賀南消防署の方をお招きして消防訓練と救急救命講習会を開催いたしました。この訓練は毎年、当建設所で働く職員等が参加して行っているものです。

最初に行われた避難訓練では、給湯室から出火したという想定で、実際に火災報知器を鳴らした緊張感のある雰囲気の中で職員一同が、指定された場所に避難をしました。消防署の方からは、「早めの行動ができていた」との講評をいただきましたが、実際に火災が発生した際にも、迅速な行動を心がけたいと思いました。

次に、水消火器を用いた消火訓練を行いました。消火器は日常生活の中でも身近にあるものですが、実際に手にする機会はほとんどないため、どこを持ってよいのか、どのくらい近づいて消火すればよいのかといったことに加え、消火器そのものの思いがけない重さに戸惑いながらの訓練でした。定期的に訓練を重ねていくことの重要性を痛感した次第です。

消防署の方からは「早めの通報」「早めの消火」「早めの避難」が人命を救い、被害を最小限に食い止めるために重要であるとお話があり、万が一の際には何事にも早めの行動を取る必要性を認識いたしました。



押す場所やペース、力加減が大切です



その後、屋内に会場を移して、救急救命講習を行いました。突然、心臓が停止してしまった場合には、医師や救急隊が到着するまで心臓マッサージを続けることが重要だそうで、心臓マッサージの方法や AED (自動体外除細動器) の使い方を学びました。

また、身の回りにある道具を利用した担架の作り方も教えていただきました。実際に職員を持ち上げてみたところ、大人の男性一人をしっかりと載せて支えることができ、簡単な作りでありながら想像以上に丈夫なできばえに驚きました。

当建設所では、いざという場合は迅速に、そして確実な行動がとれるように引き続き訓練を重ね、職員の防災意識と対処能力の向上に努めてまいります。【第二用地課 八重樫知宏】



実際に消火器を用いた訓練

青山老人クラブ連合会のダム建設事業見学会

2月13日（月）、伊賀市の青山老人クラブ連合会の森永会長を始め、13名の地域の皆さまが、川上ダム建設事業の様子を見学されました。

最初に当建設所で、事業概要や工事の進捗状況についての説明及び質疑応答を行ったあと、ダム建設予定地に向かい、ダムサイト右岸天端からの遠望や、ダムサイトの西之沢橋付近など、変わりつつあるダムサイトや工事用道路の状況などを時間の許す限り見学していただきました。現道の青山美杉線を通行しているときには「昔は路線バスが通るほどの道だったけど、今走ってみると狭く感じるね。」という感想を述べられる方もおられ、ダムが完成すると湖底に沈む思い出の土地を懐かしそうに見学されていました。



概要説明の様子

付替県道青山美杉線の平成29年の供用開始など、地元の皆様からの思いをしっかりと受け止めるとともに、平成34年度のダム完成に向けて、職員一同力を合わせて取り組んでまいります。 【総務課 大西誉朗】

ダム建設工事の
準備として法面を
保護する工事をし
ています。



西之沢橋付近にて



ダムサイト右岸天端にて

安全なダムづくりに向けて

1月19日（木）に関西・吉野川支社にて「平成28年度設備管理技術向上会」が開催されました。当建設所からも、ゲートやポンプなど、ダムに設置する設備の参考とするため筆者が参加しました。この設備管理技術向上会は、故障発生事例による改善方策等の検討を行い、課題抽出能力を含めて、機構職員の設備の管理技術向上を目的として平成27年度から開催している検討会です。

第1部では、「機械設備管理の留意点」として、講師（元利根川下流総合管理所機械課長）から、ダム・堰等の施設を適切に管理するための整備計画や、ゲート・ポンプ等の設備管理の手法等について、自らの経験を踏まえた講話がありました。これまでの経験談を踏まえた講話でしたので、機構の実在する設備についての話題が多く、聴講者の中にはその設備を実際に管理している人もおり、熱心に講話に聞き入っていました。



皆、真剣です！

第2部では、機構内のダム・堰にて近年発生した故障事例を題材に、故障に至ったメカニズムから再発防止対策、故障を未然に防止するためのチェックポイントなどについて事例報告があり、それらの課題について議論されました。

川上ダムでは、今回の向上会にて得た知識を踏まえ、今後の設備計画、管理計画などについて検討を重ねて、安心・安全なダムづくりを進めてまいります。 【調査設計課 椋島篤訓】

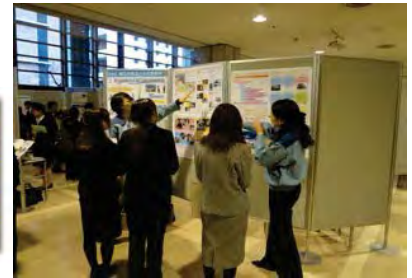
女性が活躍できる職場に～水資源機構の取り組み～

水資源機構で働いている女性職員は65名。全体職員に占める割合は約5%と、まだまだ少数派ですが、現場事務所や本社・支社局で情熱と誇りをもって働いています。水資源機構では、女性が活躍できる職場づくりを目指して、今年度より新たに設置された女性活躍支援リーダーのもとに女性活躍推進・支援チームを立ち上げました。合計6名のメンバーが中心となり、女性ならではの視点を活かして様々な取組を行っています。

女性職員の積極的な採用

女性活躍推進・支援チームスタッフの手作りで女子学生向けに水資源機構の仕事内容などを紹介するパンフレットを作成しました。また、女性職員が就職説明会などに積極的に参加し、採用活動に力を入れています。

女子学生向けのパンフレット→



女子学生向け就職説明会での一コマ

仕事と家庭を両立しやすい職場環境の整備

男性も女性も共に安心して働き続けられる職場環境を築くため、職員相互の理解を深めるための講習会などを実施しています。

男女を問わず働きやすく活力のある魅力的な職場を目指し、今後も職場をあげて様々な取組を行ってまいります。

【総務課 大西誉朗】

ご存じですか？刈払機の操作資格

刈払機、いわゆる動力付きの草刈り機は、農作業や造園業、山林管理などで下草を刈るときなど広く一般に使用されています。

労働安全衛生法では、刈払機を操作する際の資格として『事業者が労働者に刈払機を使用させる際には、刈払機取扱い作業者の安全衛生教育を受講させること』と規定されています。仕事で刈払機を扱う場合は教育の受講が必要で、個人が畑などの草刈りをするといった使用に対しては受講は必須ではありません。

機構職員は施設管理の一貫として事業用地内の草刈りを行うことがあります。今年度は当建設所職員2名が刈払機取扱い作業者安全衛生教育を受講しました。



上手に刈れるようになるには練習が必要で

刈払機は鋭い刃が回転する機械なので誤って使用すると刈刃が跳ね返ったり、転んだ時に刃に触って怪我をしたりといった危険を伴います。また、草刈り作業中は大きな音がしていて近寄っても気づかれにくく、作業者が向きを変えたときに刃が当たったりして、思わぬ事故につながります。刈払機は取り扱いが簡単そうに見えて事故が起こりやすい機械であることを学びました。正しい知識を身につけ安全に機械を扱うことも技術のひとつです。機構では各種の資格取得を計画的にすすめ、作業の安全管理を徹底してまいります。

【環境課 清水杏子】

こどもつうしん

これ、なあに？

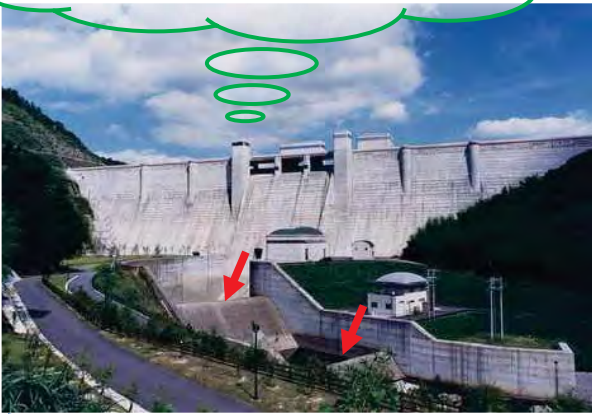


まずは右の写真を見てね。これは名張市にある比奈知ダムを空からとった写真だよ。ダムがとっても大きいのはみんな知っているよね。でも、その下に小さなダムがあるのを知っているかな。

大きなダムは大雨がふると、たくさんの水をためながら少しずつ水を流すんだけど、それでもたくさんの水を流すこともあるから、そのままだと川の流れるがとても速くなってしまふんだ。川の流れるがとても速いとうなってしまうのかな？



かりゆうすいこうえんから見学できるよ。
小さなダムだけど注目してね。



そう、水のいきおいが強くなってしまふから、川岸や川底がけずられてしまうことがあるんだ。だから、この小さなダムで大きなダムから流れてくる水を一度受け止めて、水のいきおいを弱くしてから川に流しているんだよ。小さな小さなダムだけど、とっても大きなはたらきをしているんだ。

え？この小さなダムは川上ダムにも作られるのかって？そうそう、この小さなダムは、形や大きさはちがうけど、川上ダムにも作られるから安心してね。

【総務課 山下朋穂】

本誌に対するご意見と掲載記事を募集します♪

当建設所では、読者の皆様により一層楽しみながら川上ダム通信をお読み頂けるよう、本誌に対するご意見や掲載記事を募集しています。詳細については、下記までお問い合わせくださいますようお願いいたします。

【問い合わせ先】 総務課 TEL 0595-52-1661 Mail somu1@lily.ocn.ne.jp

※掲載記事については、広告など営利目的のものはお受けいたしかねますのでご了承ください。

イベントのお知らせ

伊賀上野・城下町のおひなさん

開催日時 2月18日(土)～3月3日(金)

開催場所 伊賀市上野本町通り周辺

お問い合わせ

(平日) 伊賀市役所 観光戦略課

TEL: 0595-22-9670

(土日祝) 伊賀上野観光協会

TEL: 0595-26-7788

第12回 初瀬街道まつり

開催日時 3月5日(日)

開催場所 初瀬街道阿保宿周辺

お問い合わせ 阿保地区市民センター

TEL: 0595-52-2000

編集後記

来年の話をするとう鬼が笑う、という話はよく聞かれる表現ですが来年度の話を書くとどうなるのでしょうか…。早いもので今年度も残すところあとわずかとなりました。

もう〇十年も前の話を振り返れば、宿題もない小学生の頃の春休みが贅沢な日々であったのだと懐かしく思い出されます。とはいえそんなことを言っても始まりません。年度末は卒業や転勤もあれば、新たな出会いが待ち受けている季節です。新年度に向けて頑張ろう！！と、決意を新たにすもの、春眠暁を覚えず……。うっかり寝過ごさないように注意しなければなりませんね。

【広報誌発行事務局】

編集長 加納(所長)

デスク 大西(総務課長)

記者 谷村(総務課)

八重樫(第二用地課)

清水(環境課)

小谷口(工務課長)

富士澤(第一用地課)

山本(調査設計課)

小野(工務課)